

食べて笑っていきいきと！

誰もが元気 健康 東郷

いきいき東郷 21(第2次) の中間評価を行いました



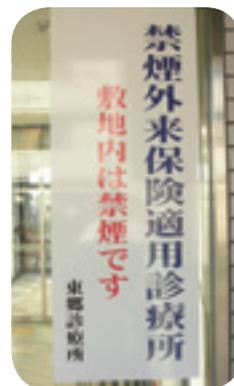
町では平成 24 年度にいきいき東郷 21 (第 2 次) を策定し、健康増進・食育に関する課題を 10 分野に分け、ライフステージに応じた健康づくりを進めてきました。

平成 29 年度は計画の中間年度に当たり、それまでの計画の進捗を確認し、推進できている取り組みや不足している資源を洗い出すことで、今後 5 年間の健康づくり、食育の推進がより図られるよう、いきいき東郷 21 (第 2 次) 中間報告書を作成しました。

今回は見直しの結果、今後さらに進める必要がある主な項目について紹介します。

中間見直し課題

健康増進分野	とうごう体操のさらなる普及
	妊娠から出産、子育ての相談窓口が分かりにくい
	たばこの影響の認知度が低い
	子どもの虫歯が多い
食育分野	伝統料理や郷土料理を作ったことがない人が多い
	県産・町産の農産物の認知度が低い



中間見直し結果

健康増進分野	運動習慣がある人の割合が県の数値よりもやや低い
	妊娠から出産までを快適に過ごせた割合が上昇していない
	小中学校でたばこの悪影響を学んでいないまたは、学んでも忘れてしまう人が多い
食育分野	3 歳児の虫歯の割合が上昇している
	季節の行事食を作ったことがある割合が低下している
	県や町で採れる農産物を知っている人の割合が低下している



新たに行うこととした主な取り組み

いきいきとうごう健康マイレージの推進
とうごう体操を推進

平成 30 年度に母子健康包括支援センターを設置し、妊婦期から切れ目ない支援を充実

禁煙治療がより身近なものになるよう、医師会、薬剤師会と連携

子どもの虫歯を減らすため、歯科衛生士訪問事業を継続
歯周病検診の対象年齢の拡大

おせち作り教室などで伝統料理や郷土料理を紹介し、食文化を継承

農協と調整しながら、給食での県産・町産食材の使用回数を増やして地産地消をさらに推進



知っていますか? 食生活改善推進員

食生活改善推進員ってどんな人?

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に食を通した健康づくりを目指してボランティア活動を行っている団体です。

町では、3年ごとに養成講座を開催し、現在会員 13 名で食に関する様々な活動をしています。

どんな活動をしているの?

離乳食教室、男性のための料理・ウォーキング入門など町が行う食に関する講座やイベントに参加するほか、町内保育園・幼稚園での食育紙芝居、やさしい介護食講座などを行っています。

会長からの一言

地域の食生活の相談相手になれたら良いと思い、ボランティア活動を通して勉強させていただいています。

仲間と共に東郷町の健康寿命を延ばすお手伝いが出来ればと考えています。



鬼頭裕子 会長

平成 30 年度に母子健康包括支援センターを開設しました!

センターの役割

母子健康コーディネーターを配置し、妊娠・出産・子育ての様々な相談をお受けします。

妊婦期から就学までの子育ての時期を安心して過ごしていただけるよう、一人一人に寄り添った切れ目のない支援を行います。

どんなことをしているの?

妊娠の届出をしたすべての妊婦の人に対してアンケートを行い、妊娠期や育児の支援を必要としている人を把握し、パパママ教室の案内や電話相談、家庭訪問などを行います。

また、乳幼児健診などで発達に心配のあるお子さんには、なかよし教室やことばの相談で継続した支援を行っています。

保育園などへ入園した後、集団行動の中で上手く行動できないときなどには、4歳、5歳児発達相談などにより、その子に応じた対応を提案しています。